

新年度もあっという間に2ヶ月が経ち、早くも6月に突入です。

先月までは、時節柄、交通や防犯関係団体の定期総会や会合にお招きいただくことが多くありました。

その中で、関係者の皆さまと町のことや安心安全に関することとお話する機会等もいただき、様々な方々から貴重なご意見をたくさんお聞きすることもできました。

大変ありがとうございました。引き続き、弟子屈警察署の活動にご理解のほど、よろしく願い申し上げます。

6月に入り、日を追うごとに暖かさが増し、弟子屈・標茶の両町にも初夏の訪れを感じる季節となってきました。

これからの季節は、キャンプ、登山、カヌー、釣りなどのアウトドアレジャーやバイクツーリング等で当地の雄大な自然を満喫される方々が増えていくかと思われま

それに伴い、登山や山菜採りでの遭難・滑落事故、川・湖での水難事故や交通事故の発生も懸念されます。

アウトドアレジャーの際は、天気予報や体調を確認し、必要な装備、服装等の準備や手続きをしっかりと行ってください。

また、万が一に備えて、

- 携帯電話やGPSのほか、ホイッスル（笛）を携帯する
 - 家族等に行き先、帰宅予定時間、移動手段等を伝えておく
 - 登山するときは必ず登山届を提出する
 - できるだけ複数人で行動し、目立つ服装を心掛ける
- などをよろしくお願いいたします。



なお、バイクなど利用の際は、以下の点を踏まえ、交通事故にも注意願います。

二輪車の交通事故防止

『スピードと 焦る気持ちに ブレーキを』

○ 交通ルール・マナーの遵守

スピードの出し過ぎは、カーブを曲がりきれず対向車線へはみ出したり、路外へ逸脱する事故に繋がるおそれがあります。また、ちょっとした路面の変化によりバランスを崩し、転倒してしまうおそれもありますので、制限速度をしっかりと守りましょう。

無理な追越しも、正面衝突等の重大事故に直結しますので絶対にやめましょう。

○ バイクの特性の理解

バイクは車体が小さく、車のドライバーからは、ミラー等の死角になって見落とされたり、距離感や速度感覚がわかりにくく、特に交差点では、いわゆる「右直事故」の当事車両になるケースがあります。運転する際には、双方の車両の特性を理解した上で、お互いに慎重な運転に心掛けましょう。

○ ゆとりをもったツーリング

ツーリング中にバイク仲間から遅れ、その遅れを取り戻そうと自分の技量を超えて無理な運転をしていませんか。

無理な運転は、交通違反や交通事故を惹起し、命を落とす場合もあります。

仲間とツーリングをする際には、仲間同士でゆとりをもった計画を立てることや、仲間から離れてしまった場合の集合場所をあらかじめ決めておくことが大切です。



令和7年6月2日
弟子屈警察署長
鈴木 将人